

令和4年度漁業担い手満足度調査報告書の概要

令和5年11月
岩手県農林水産部
水産振興課

1 調査の概要

- 調査目的** 本県における「なりわい」としての漁業の魅力について、漁業者の満足度を指標として定量化するとともに、満足度に影響を与える要因を分析し、就業環境の改善などの漁業担い手対策の参考とするもの。
- 調査対象者** ①岩手県漁業士82名（青年漁業士17名、指導漁業士65名） ②若手漁業者66名（着業10年未満の漁業者）
- 調査方法** 設問票によるアンケート調査（総合満足度及び個別満足度30項目）
- 対象期間** 令和3年12月～令和4年10月
- 実施時期** 令和4年11月～令和4年12月
- 有効回答数** ①岩手県漁業士49名（回収率59.8%） ②若手漁業者19名（回収率28.8%）
- 総合満足度** 総合満足度は、「非常に満足」、「満足」、「やや満足」、「ふつう」、「やや不満」、「不満」、「非常に不満」、の7段階評価とし、それぞれ「3点」から「-3点」までの1点刻みで数値化して分析した。
- 個別満足度** 項目ごとに、「そう思う」、「まあ思う」、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の4段階で評価し、それぞれ「4点」から「1点」までの1点刻みで数値化して分析
- 総合満足度の構造分析**
総合満足度と個別満足度の関係を分析するため、満足度（個別項目でまあ思う以上の割合）と重要度（個別項目のうち、どの項目が総合満足度に影響を与えているか）を算出し、改善度として優先して改善すべき項目を数値化して分析（改善度については、『課題項目』（重要改善分野）のうち、正の数値が大きいほど優先して改善すべきものとなる）

2 総合満足度の推移

- 回答者全体**
今回の調査では、回答者数68人全てが有効回答であり、総合満足度は0.41点と令和3年度よりも上昇しましたが、過去2番目に低い数値となりました（図1）。
- 漁業種類別**
漁業種類別の総合満足度は、漁船漁業が-0.13点、養殖業が0.77点、採介藻漁業が0.00点となり、養殖業と採介藻漁業は前回の調査と比べて上昇しました。一方、漁船漁業は5年連続で低下しました（図2）。

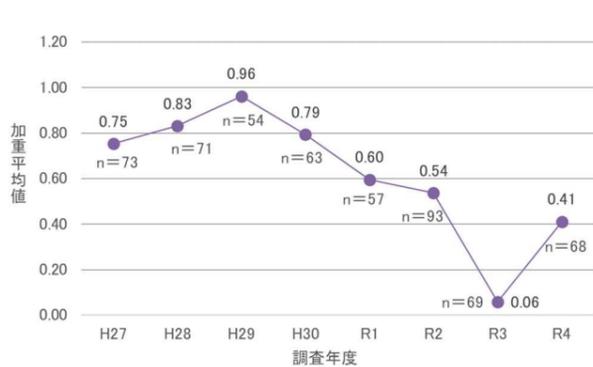


図1 回答者全体の総合満足度の推移 (n:有効回答者数)

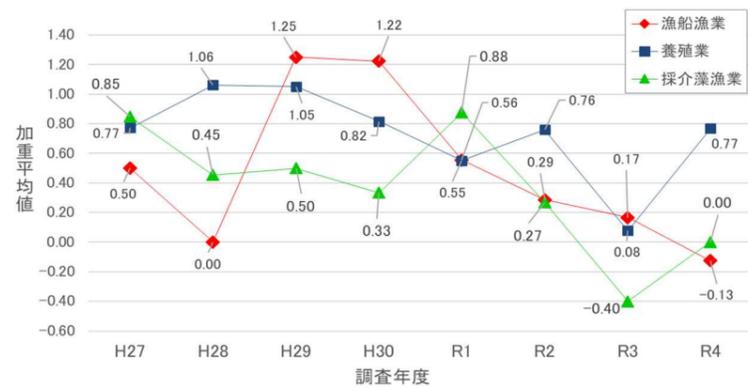
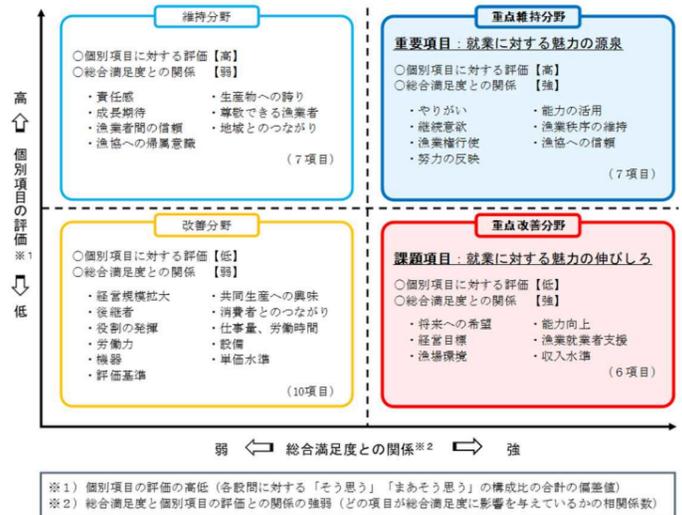


図2 漁業種類別の総合満足度の推移 (n:有効回答者数)

3 総合満足度の構造分析

- 個別満足度の評価項目（30項目）について、総合満足度との相関係数で評価し、『重要項目』（総合満足度と関係が強く、かつ個別満足度の高い項目）と、『課題項目』（総合満足度と関係が強いものの、個別満足度の低い項目）に定義しました。
- 『重要項目』… 就業に対する**魅力の源泉**
- 『課題項目』… 就業に対する**魅力の伸びしろ**
- 今回の調査では、『重要項目』に「やりがい」、「能力の活用」、「継続意欲」、「漁業秩序の維持」、「漁業権行使」、「漁協への信頼」、「努力の反映」の7項目が分類されました。
- また、『課題項目』として、「将来への希望」、「能力向上」、「経営目標」、「漁業就業者支援」、「漁場環境」、「収入水準」の6項目が分類されました（図3）。
- 改善度を分析したところ、「将来への希望」、「漁業就業者支援」、「収入水準」の順で、優先的に改善が求められています。



4 漁業種類別の個別満足度の分析（前年度調査との比較）

- 養殖業**
重要項目として「やりがい」や「将来への希望」を含む10項目、課題項目として「後継者」を含む6項目となりました。課題項目のうち、改善の優先順位が高い順に、「漁業就業者支援」、「設備・機器」、「後継者」となっています。
- 漁船漁業**
重要項目として「やりがい」や「継続意欲」を含む9項目、課題項目は「漁業就業者支援」を含む6項目となりました。課題項目のうち、改善の優先順位が高い順に、「漁業就業者支援」、「消費者とのつながり」、「能力向上」となっています。
- 採介藻漁業**
重要項目として「責任感」や「漁業者間の信頼」を含む10項目、課題項目として「労働力」を含む4項目となりました。課題項目のうち、改善の優先順位が高い順に、「収入水準」、「漁場環境」、「努力の反映」となっています。

表 個別満足度評価表（漁業種類別）

要因区分	項目	漁業種類					
		養殖業		漁船漁業		採介藻漁業	
		重要・課題	改善度	重要・課題	改善度	重要・課題	改善度
仕事	やりがい	◎	-2.28	◎	3.76	◎	-6.08
	将来への希望	◎	10.14	◎	7.04	◎	4.41
	責任感	◎	-9.46	◎	-19.04	◎	-7.83
	能力の活用	◎	-3.15	◎	-8.95	◎	-9.82
	生産物への誇り	◎	-13.21	◎	-10.72	◎	-7.83
	継続意欲	◎	-2.05	◎	0.43	◎	0.40
	漁協への信頼	◎	-2.05	◎	0.43	◎	0.40
自己の成長	成長期待	◎	-13.32	◎	3.35	◎	-12.36
	能力向上	■	3.39	■	5.04	■	0.37
経営目標	経営目標	◎	1.62	■	1.31	◎	-0.09
	経営規模拡大	◎	2.71	◎	6.13	◎	4.77
	共同生産への興味	◎	-3.48	◎	-0.41	◎	3.02
	後継者	■	7.85	◎	0.19	◎	3.76
他の漁業者との関係	尊敬できる漁業者	◎	-12.30	◎	2.28	◎	-3.14
	漁業者間の信頼	◎	-9.97	◎	-2.60	◎	-4.24
	漁業就業者支援	■	20.90	■	8.83	◎	1.05
地域住民や消費者との関係	地域とのつながり	◎	-12.68	◎	-5.53	◎	-12.90
	消費者とのつながり	◎	2.93	■	6.89	◎	4.96
漁協との関係	漁協への帰属意識	◎	2.23	◎	-6.88	◎	-6.08
	漁業秩序の維持	◎	-0.59	◎	1.50	◎	-3.68
	漁業権行使	◎	-0.71	◎	1.28	◎	2.94
	漁協への信頼	◎	0.52	◎	0.07	◎	-1.62
労働条件	役割の発揮	■	5.91	◎	1.72	◎	0.71
	仕事量・労働時間	◎	-0.77	◎	1.43	◎	1.81
	労働力	◎	3.91	◎	-4.33	◎	1.94
	設備・機器	■	12.63	◎	-9.55	◎	-18.32
	漁場環境	◎	4.11	◎	4.90	◎	9.90
収入	単価水準	◎	-3.70	◎	-4.05	◎	5.81
	評価基準	◎	4.97	◎	1.77	◎	6.01
	収入水準	◎	3.28	◎	3.77	◎	16.82
	努力の反映	◎	-3.46	◎	1.43	◎	5.24

※ 漁業種類ごとの構造分析として、総合満足度との相関係数で評価し、総合満足度と関係が強く、かつ個別満足度の高い項目を「重要項目◎」、総合満足度と関係が強いが、個別満足度の低い項目を「課題項目■」としている。また、個別項目の改善すべき優先順位を判断するため、改善度を算出し、優先度上位3項目を赤字で記載している。

まとめ

令和4年度の総合満足度は令和3年度に比べ上昇していますが、長期的な視点では、平成29年度をピークに低下傾向にあり、漁業を取り巻く環境や社会経済情勢が変化している中、「なりわい」としての漁業の魅力を向上させるため、今回の調査で重要項目とされた「やりがい」や「能力の活用」などを重視しながら、課題項目とされた「将来への希望」や「漁業就業者支援」などの視点から、改善の取組を戦略的に推進していく必要があります。

このため、県では、「いわて県民計画（2019～2028）」第2期アクションプランの分野別計画として、令和5年3月に「岩手県漁業担い手育成ビジョン（令和5～8年度）」を策定し、市町村や漁協、漁業関係団体と連携しながら、次代を担う意欲ある新規漁業就業者の確保・育成と地域漁業の中核となる強い漁業経営体の育成を推進し、漁業者の満足度の向上とともに、「なりわい」としての漁業の魅力の向上を図っていきます。